



求めて「こだわりの」を

## 客人をも魅了する富士見の特等席

—静岡県・O邸

### Luxury Bathroom 3

Bathroom With a View of Mt. Fuji

“湯殿作りのプロ”に聞いた!

#### 理想の風呂空間を作る鍵

パーソナルな空間を作るには風呂の位置が鍵!

キッチンやトイレに近い場所に置かれがちな浴室だが、あえて「寝室の奥」に配置するのが鍵。「最も隅に配置することが多い寝室よりもさらに奥に置くことで、入浴後に家族と遭遇することが避けられるため、一人の時間を静かに堪能することができます」(一級建築士の高島 勲さん/積水ハウス)。

優雅な空間に仕上げるには隠す収納が鍵!

生活感のあるバスグッズが見えてしまうと、せっかくの“湯殿”気分も台無しに。雑多なものはすべて隠してしまうことで、風呂場はより優雅な空間に仕上がる。「特に扉付きの収納にしてしまえば、浴室はよりすっきりと仕上がります」(コンセプトデザイナーの和田直哉さん/アーネストアーキテクト)。

絶景を眺める空間には風呂場の色が鍵!

風呂窓の外に見える景色を何よりも大切にしたいと考える場合、空間はよりシックに仕上げ、景色を引き立てることがコツだ。「風呂場のトレンドカラーはグレー。バスルームの内側と外側の色を統一することで、景色を邪魔しない空間に仕上がります」(設計士の村井彩佳さん/パンクチュール)。

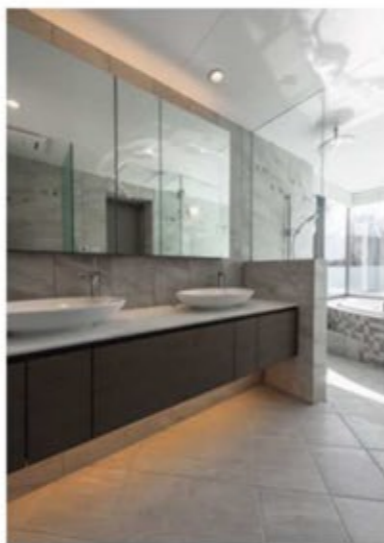
風呂空間へのこだわりを突き詰めることで、理想の湯殿の形が見えてくる。ここでは、特に施主のリクエストとして多い3つのこだわり風呂空間をご紹介します。それを実現するための「鍵」を、湯殿作りのプロである建築家や設計士に聞いた。

選び抜いた浴槽が最高のリラククスを誘う

客人をもてなすリゾートハウスとして、日本一の絶景・富士の雄姿を望む立地に建つO邸。景色を堪能できるよう、富士山に向かい合う横長の建物となっている。リビングはもちろん、何より重視したのが浴室からの眺望だ。設

計士はO氏の熱望を受け、建築途中にも測量を繰り返し、眺望の確保に細心の注意を払ったという。「もう一つのこだわりが、丸くて大きなバスタブ。ショールームで広さや入り心地を試して納得し、選びました」とO氏。子どももなら5〜6人ほど入れる「ジャクソン」の大きいジェットバスは、泡風呂にするのが歓声が上がるとか。

「シンガポールや中国からのゲストをお招きすることが多く、皆さん入浴しながら見えるこの景色に感動してくださいます。TVモニターもあるのですが、風景のほうが魅力的で、使う機会がないほど。富士山を見ながら広い浴槽に身を委ねるバスタイムは、心身を深くリラックスさせてくれる最高のひとときだと思います」(O氏)。



パウダールームとその先に広がる浴室は、寝室に隣接した位置に設置。ゲストルームにも浴室が付属しているが、この絶景を楽しんでもらえるようゲストたちにも開放している。(設計/アーネストアーキテクト)

### Luxury Bathroom 2

Bathroom With Semi Open-air Bath

## 都心ならぬ解放感。夢を叶えた半露天

—東京都・箕輪邸



傾斜のある角地に建つ箕輪邸は、二方向に窓があるリビングからの眺めも素晴らしい。バスルームを斜面側の2階に配置することで、近隣の家からは一層分高い3階の位置となり、周囲から覗かれる心配がない。(設計/アーネストアーキテクト)

浴室内にある6つの収納棚は、家族それぞれが自分のアメニティグッズを納める場所。掃除道具を隠すための扉付き収納も備えている。

理想を一つずつ重ねていき限られた空間で最大の癒しを「機能とデザインが両立した家具のように、家を構成する優れたパーツとして、上質なバスルームを手に入れたかった」と箕輪氏。設計のプロと細やかにコミュニケーションを取りながら、これまでも自身の強いこだわりを実現する4軒を建ててきた。その1つである鎌倉のセカンドハウスには海を望むバスルームを設けたというが、今回紹介する自邸でも、最大限に寛げる浴室を作っている。

「家族はゆとりバスタイムを楽しんでほしいけれど、実は、自分自身も、理想を形にした美しい風呂のある我が家を持っていること自体が、何よりも自分の心を満足させてくれます」(箕輪氏)。

心配をなくしたからこそ。家族と一緒に入浴することもでき、多方向から窓外の風景が楽しめるようにと選んだのは、浴槽メーカー「ジャクソン」の円形ジェットバス。アメニティを納めるためにデザイン性の高い収納棚を用意したり、あえて離れた場所にパウダールームを配置するなどの工夫により、生活感が排除され、寛ぐことにとことん集中できる設計となった。「家族はゆとりバスタイムを楽しんでほしいけれど、実は、自分自身も、理想を形にした美しい風呂のある我が家を持っていること自体が、何よりも自分の心を満足させてくれます」(箕輪氏)。

